2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	日常生活動作学	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	月曜・1限
担当教員	伊藤　大貴				
授業概要	日常生活動作（ADL）の支援は作業療法士が対象とする作業の中でも余暇や生産活動と並んで、非常に重要な部分です。どれだけ趣味ができても、常に身の回りの事を助けてもらっていては、本人並びに介護する人々が十分に満足のいくリハビリテーションとはなりません。その為、各疾患のADL支援を理解し実践できるようになることが重要です。本講義ではそれらについて演習も踏まえながら進めていきます。				
学習目標	・各疾患の特徴を理解し、自身の言葉で簡単に説明できる ・作業療法士がおこなう評価を実践できる ・各疾患特性に応じたADL支援を実践できる				

回数		担当教員
1回目	オリエンテーション　ADL評価のポイント、BI、FIM、脳卒中片麻痺　P22～39	伊藤　大貴
2回目	脳卒中の基本動作1　P41～60	伊藤　大貴
3回目	脳卒中の基本動作2　P41～60	伊藤　大貴
4回目	基本動作のFIM	伊藤　大貴
5回目	脳卒中のADL（食事・排泄）　P61～68　<u>単元テスト①</u>	伊藤　大貴
6回目	食事・排泄のFIM	伊藤　大貴
7回目	脳卒中のADL（更衣）　P69～76	伊藤　大貴
8回目	更衣のFIM	伊藤　大貴
9回目	脳卒中のADL（整容・入浴）　P76～82	伊藤　大貴
10回目	整容・入浴のFIM	伊藤　大貴
11回目	コミュニケーション・社会的認知のFIM　<u>単元テスト②</u>	伊藤　大貴
12回目	IADL、事例検討①　P85～95	伊藤　大貴
13回目	事例検討②	伊藤　大貴
14回目	事例発表　<u>パフォーマンス評価</u>	伊藤　大貴
15回目	まとめ	伊藤　大貴

教科書及び参考書	テキスト①　PT・OTビジュアルテキストADL 第2版　羊土社
成績評価	単元テスト①、②：20%　パフォーマンス評価：10%　期末試験：50%　欠席は3点、遅刻は1点減点 単元テスト①は1～4回目、単元テスト②は5～10回目から出題予定です。パフォーマンス評価は事例報告書、当日の発表態度・行動で評価します。期末テストは全範囲ですが、単元テストと授業内でポイントとして伝えた部分を中心に出題する予定です。脳損傷のADL支援方法は範囲が広いです。そのため、授業内で理解しきれない部分は授業外でも質問や相談をしてください。分からないことをそのままにせず、その日のうちに理解できるように行動しましょう。

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

予習ではシラバスで指定した範囲の教科書を事前に読み、自身で重要だと思った部分にアンダーラインを引いてください。その後、授業でアンダーラインを引くよう指示された部分と整合性を確かめることで、効率よく知識として定着します。復習では、各疾患の学習ポイントについて自身の言葉でまとめる事や、授業内でアンダーラインを引いたり、空欄補充を行った部分を中心に見直すと良いです。

臨床実習においては、各疾患の評価をおこない、機能に合わせたADL支援をおこなう技術は必須です。この授業を通して疾患別ADLに関する技術を獲得し、自信を持って臨床実習に望めるように精進しましょう。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業療法評価法Ⅱ（精神障害）	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	月曜・2限
担当教員	村谷　澄哉				
授業概要	精神や認知面に対する作業療法評価手技を学び、実施し、結果を表記する能力を身に付ける講義です。臨床場面で精神評価を実施できるよう評価実技の演習を行います。				
学習目標	① 精神科作業療法の流れについて説明できる。 ② 精神疾患の評価項目と評価する内容について説明できる。 ③ 精神評価を実施できるようになる。 ④ 評価実技で実施した内容をレポートにまとめることができる。				

回数		担当教員
1回目	オリエンテーション　作業療法の流れと面接方法について	村谷　澄哉
2回目	面接（実技）	村谷　澄哉
3回目	観察評価①	村谷　澄哉
4回目	観察評価②	村谷　澄哉
5回目	作業療法評価　認知機能評価（HDS-R、MMSE、MOCA-J）	村谷　澄哉
6回目	作業療法評価　日本語版BPRS評価について	村谷　澄哉
7回目	作業療法評価　うつの評価（SDS、BDI-Ⅱ）	村谷　澄哉
8回目	単元テスト①　作業療法評価　気分と疲労のチェックリスト（SMSF）、入院生活チェックリスト（ISDA）	村谷　澄哉
9回目	作業療法評価　作業遂行特性評価（箱作り法）	村谷　澄哉
10回目	作業療法評価　興味・関心チェックリスト、対人パターンチェックリスト	村谷　澄哉
11回目	作業療法評価　精神障害者ケアアセスメント	村谷　澄哉
12回目	作業療法評価　認知機能評価（BACS-J）について	村谷　澄哉
13回目	単元テスト②　作業療法評価　Rehab、GAF評価	村谷　澄哉
14回目	症例検討	村谷　澄哉
15回目	症例検討　まとめ	村谷　澄哉

教科書及び参考書	精神障害と作業療法　病いを生きる、病いと生きる　精神認知系作業療法の理論と実践/三輪書店 ゴールド・マスター・テキスト　精神障害作業療法学/メジカルビュー
成績評価	単元テスト40%　期末試験60%　欠席は3点、遅刻は1点減点とする。授業態度も含まれます。

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

精神科作業療法士がその人となりを評価するために用いる評価方法を学ぶ講義となります。心を知るためには、評価用紙を用いた数値的な評価の他、面接や観察から得られる情報も大切なデータとなります。
今回の講義では、評価方法や評価時の視点について一緒に学びます。評価用紙は、臨床実習や卒業後にすぐ用いることができるように原本をファイリングする専用のファイルを用意しておくことをおススメします。

2026年度後期　理学・作業名古屋専門学校シラバス

科目名	作業治療学Ⅰ（身体障害Ⅰ）	授業形態	(講義) 演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	月曜・3限
担当教員	伊藤　大貴				
授業概要	この授業では、身体機能作業療法の基本的な治療原理と治療方法を理解し、各疾患、障害に対する作業療法を考えるための土台作りをしていきます。エビデンスベースの治療が実践できるように知識・技術を学んでいきましょう。				
学習目標	・アプローチ種類と評価・治療方式を説明できる ・身体機能作業療法のプロセスを説明できる ・身体機能作業療法の様々なアプローチ方法を説明できる ・作業療法の治療場面でのリスク管理を説明できる				

回数		担当教員
1回目	身体機能作業療法学の基礎1	伊藤大貴
2回目	身体機能作業療法学の基礎2	伊藤大貴
3回目	身体機能作業療法学の基礎3	伊藤大貴
4回目	治療原理1	伊藤大貴
5回目	治療原理2	伊藤大貴
6回目	関節可動域の維持・拡大　　単元テスト①	伊藤大貴
7回目	筋力と筋持久力の維持・増強	伊藤大貴
8回目	筋緊張異常とその治療	伊藤大貴
9回目	不随意運動とその治療	伊藤大貴
10回目	協調運動障害とその治療　　単元テスト②	伊藤大貴
11回目	感覚・知覚再教育	伊藤大貴
12回目	廃用症候群とその対応	伊藤大貴
13回目	嚥下・摂食障害	伊藤大貴
14回目	物理療法の基礎、振り返り1	伊藤大貴
15回目	振り返り2	伊藤大貴

教科書及び参考書	標準作業療法学　身体機能作業療法学　第4版　医学書院
成績評価	単元テスト①・②：20点×2　期末テスト：60点　欠席は3点、遅刻は1点を減点します。授業態度を考慮します。 単元テスト①は1回目～5回目、単元テスト②は6回目～9回目の授業内容から出題します。期末テストは全範囲ですが、単元テストと授業内でポイントとして伝えた部分を中心に出題する予定です。

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

身体機能障害における治療の枠組みや考え方に加え、具体的な実践方法を学びます。これらは、それぞれの疾患を患った対象者に、根拠に基づいた治療を考え実践する上で必要となるものです。将来、適切な治療が実践できるよう意識して学んでいきましょう。実技も交えながら行いますので実施しやすいように動きやすい服装で参加してください。復習を行って単元テストや期末テストに備えてください。治療理論は解剖運動生理学の知識が必要です。1年次の復習になりますし、今後に学ぶ疾患別の作業療法の理解に役立ちます。頑張りましょう。

心理的アセスメント(3540)	武野　全恵	併修科目・必修 2年 OT月曜4限

授業のねらい

事例理解のために、性格テストや知能検査など各種の心理検査がどのように役に立つのかを知り、心理的アセスメントの目的及び倫理、心理的アセスメントの観点及び展開、心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査)、適切な記録及び報告について学修し、各種の心理検査の基本となる考え方について理解を深める。

教科書・資料　テキストは使用せず，配布資料のみで授業を行う。その他に参考資料も配付する。

設題

レポート　1	エゴグラムについて，その特徴を述べよ。	清書	10月19日(月)
(ポイント)	エゴグラムについて、理論的背景(どのような考え方に基づいて作成された検査なのか)、実施法、解釈の仕方、留意点(気をつけたいことや検査の限界など)を記述すること。さらに、活用方法や検査結果を相手に伝える際の注意点などについて触れられるとなおよい。教科書以外にも、他の書籍やインターネットなどを積極的に活用し、調べること。		
レポート　2	ウェクスラー式知能検査について，その特徴を述べよ。	清書	12月21日(月)
(ポイント)	ウェクスラー式知能検査について、理論的背景(どのような考え方に基づいて作成された検査なのか)、実施法、解釈の仕方、留意点(気をつけたいことや検査の限界など)を記述すること。さらに、活用方法や検査結果を相手に伝える際の注意点などについて触れられるとなおよい。教科書以外にも、他の書籍やインターネットなどを積極的に活用し、調べること。		
科目終了試験	学修のポイント3 乳幼児の発達に関する検査について	科目終了試験12月23日(水)実施予定	
	学修のポイント4 神経心理学的アセスメントについて		
期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	心理的アセスメントとは -臨床心理アセスメントの歴史と倫理について-
2	質問紙法とは①　-エゴグラムを例にして-
3	質問紙法とは②　-エゴグラムを例にして- 3200字レポ 設題1「エゴグラムについて，その特徴を述べよ。」(10月19日(月)提出)
4	乳幼児の発達に関する検査とは
5	1200字レポ 学修のポイント3 「乳幼児の発達に関する検査について」(10月26日(月)提出)
6	神経心理学的アセスメントとは
7	1200字レポ 学修のポイント4 「神経心理学的アセスメントについて」(11月9日(月)提出)
8	知能検査とは①　-ウェクスラー式知能検査を例にして-
9	知能検査とは②　-ウェクスラー式知能検査を例にして-
10	知能検査とは③　-ウェクスラー式知能検査を例にして-
11	知能検査とは④　-ウェクスラー式知能検査を例にして- 3200字レポ 設題2「ウェクスラー式知能検査について，その特徴を述べよ。」(12月21日(月)提出)
12	投映法とは①　-ロールシャッハテストを例にして-
13	投映法とは②　-バウムテストを例にして-
14	授業まとめ・科目修了試験対策
15	科目終了試験
	期末テスト

成績評価

出席率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
期末試験	５０点　持ち込み:可、 論述式
授業内評価	１０点　授業態度を踏まえて評価を行う。
	１０点　レポートなどの提出状況を踏まえて評価を行う。

備考

授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。

レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった場合、提出物点が減点となります。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。また，欠席するとその回は態度の評価ができませんので，授業態度点も減点となります。そのため，できるだけ欠席をしないよう体調管理等に気を付けてください。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業療法評価法 I	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	火曜・2限
担当教員	伊藤　大貴				
授業概要	高次脳機能とは、その人らしい生活を送るうえで重要な機能です。脳血管疾患により生じうる高次脳機能障害は、動作獲得をするうえで大きな阻害因子となりやすく、適切に評価し介入することが患者様の予後に大きく関わります。また、臨床実習において関わることが多い障害です。そのため、①各症状に対して理解をすること、②適切に評価すること、③障害に合わせた介入が提案できるようになることが、OTとして必要な能力です。この授業を通して、それらを習得できるようにしていきましょう。				
学習目標	①高次脳機能障害とは何か自身の言葉で説明できる。 ②各障害の症状を簡単に説明できる。 ③各障害に対する評価法を適切に選択し、実践できる。 ④各障害に対する治療方法を提案できる。				

回数		担当教員
1回目	オリエンテーション、前期のまとめ、失認（対象認知の障害）の定義と分類　P97-102	伊藤　大貴
2回目	失認の評価について　P102-110　P213-222	伊藤　大貴
3回目	失認の評価と治療原則について①　P102-110　P213-222	伊藤　大貴
4回目	失認の評価と治療原則について②　P102-110　P213-223	伊藤　大貴
5回目	半側空間無視の定義と分類 P118−127　P223-240　　※単元テスト①	伊藤　大貴
6回目	半側空間無視の評価（実技）P118−127　P223-240	伊藤　大貴
7回目	半側空間無視の治療について① P118−127　P223-241	伊藤　大貴
8回目	半側空間無視の治療について② P118−127　P223-242	伊藤　大貴
9回目	遂行機能障害の定義、評価（実技）①　P128-140　P242-248　　※単元テスト②	伊藤　大貴
10回目	遂行機能障害の評価（実技）②　P128-140　P242-248	伊藤　大貴
11回目	遂行機能障害の治療　P128-140　P242-249	伊藤　大貴
12回目	社会的行動障害の定義、評価について P142-153　P249-255	伊藤　大貴
13回目	社会的行動障害の治療原則について① P142-153　P249-255	伊藤　大貴
14回目	社会的行動障害、その他高次脳機能障害	伊藤　大貴
15回目	高次脳機能障害者の運転支援について・まとめ　P293－305	伊藤　大貴

教科書及び参考書	標準作業療法学　高次脳機能作業療法学（第3版）/医学書院 高次脳機能障害作業療法学（第2版）/メジカルビュー社　　適宜、プリント等を配布する。
成績評価	単元テスト①②（各20%ずつ）　期末試験（60%）　欠席は3点、遅刻は1点減点 1回目～4回目までを単元テスト①、5回目～8回目までを単元テスト②で出題します。単元テストは再試を行いません。本試で高得点を取れるよう事前準備しましょう。期末テストは全範囲ですが、単元テストと授業内でポイントとして伝えた部分を中心に出題する予定です。そのため、授業内で理解しきれない部分は授業外でも質問や相談をしてください。分からないことをそのままにせず、その日のうちに理解できるように行動しましょう。

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

単元テストは授業でポイントとして伝えた部分、期末テストは全範囲ですが、出題するのは授業内でキーワードとして伝えた部分を中心に出題する予定です。高次脳機能障害は理解しにくいことも多いと思います。シラバスで指定した範囲を事前に読み、予習をすることを推奨します。また、復習をしても理解が難しい時には、授業内だけでなく、授業外でも質問や相談をしてください。分からないことをそのままにすると、次々と新しい障害に触れることになり、混濁しやすいです。ファイルを事前に準備してください。授業内で配布する評価用紙や参考資料は実習に向けてファイリングしていき、すぐに使用できるように準備しておきましょう。理解を深め、OTとして自信をもって患者様に対応できるように備えていきましょう。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	病理学	授業形態	(講義) 演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	火曜・3限
担当教員	戎　弘志				
授業概要	医療の現場で実践的に役立つ広範囲でかつ正しい知識を習得する。個々に異なる患者への適正な対応ができるように学習する。総論として病理学の基本を理解し、各論として臓器別の病理を学ぶ。小テストにより、それまでの理解を確認しながら進めていく。				
学習目標	第一は国家試験に合格することを目的として、正しく幅広い知識を持つこと、第二は将来の自分の職業を全うするための基礎知識を積む。具体的には創傷治癒、炎症の原因や仲介物質、感染症をおこす病原体の種類や感染経路、免疫システムとアレルギー、自己免疫疾患などの免疫異常、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いや悪性腫瘍のそれぞれの臓器での特徴などの知識を得て、循環器疾患、脳血管疾患を始めとする生活習慣病も考えながら、形態学である病理学全般を説明できるようになる。				

回数			担当教員
1回目	先天異常と遺伝子異常	総論：病気の原因、遺伝性疾患と診断	戎　弘志
2回目	代謝異常の病態	総論：代謝異常（細胞損傷、代謝異常と疾患）	戎　弘志
3回目	循環器の構造と機能	総論：循環障害（局所と全身の循環障害）	戎　弘志
4回目	炎症と免疫のシステム	総論：炎症、免疫、アレルギー	戎　弘志
5回目	小テスト		戎　弘志
6回目	感染症の病態	総論：感染症（病原体と感染症）	戎　弘志
7回目	腫瘍の病理と老化の病理総論：腫瘍（悪性腫瘍の発生、転移）、老化		戎　弘志
8回目	循環器系の病態	各論：循環器系（先天性と虚血性心疾患）	戎　弘志
9回目	呼吸器系の病態	各論：呼吸器系（気管、気管支、肺の疾患）	戎　弘志
10回目	小テスト		戎　弘志
11回目	消化器系の病態	各論：消化器系（胃腸、肝・胆・膵の疾患）	戎　弘志
12回目	泌尿器、生殖器系、内分泌の病態（役割と疾患）	各論：腎・泌尿器・生殖器系（炎症と癌）と内分泌	戎　弘志
13回目	神経系の病態	各論：脳、神経系（脳、神経の循環障害と癌）	戎　弘志
14回目	運動器、感覚器の病態	各論：骨、関節、筋肉（運動器）・感覚器（視覚等）の疾患	戎　弘志
15回目	小テスト		戎　弘志

教科書及び参考書	わかりやすい病理学　：　南江堂
成績評価	出席（遅刻・欠席減点）5%、小テスト5%、積極的授業参加態度5%、試験85%

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

病理学は解剖生理学、微生物学、腫瘍学、栄養代謝学などの他、多くの専門分野と接点をもつ「医学の雑学」にも相当する、古くてかつ常に新しい学問である。将来の専門職には必ず役立つ学科である。授業は原則として教科書に基づき進行するが、必要に応じて基礎医学的なプリントを配布し、重要事項についての補強対策とする。また、関連設題についての小論文の提出を求めることもある。

心理学を活かしたキャリアマネジメント(3650)	武野　全恵	併修科目・必修
		2年
		OT火曜4限

授業のねらい

本科目では、「心理学を活かしたキャリア・デザイン」において学んだことを踏まえて、心理学を活かした将来展望やキャリア形成について、より具体的に考える。特に資格取得を想定している場合は、資格を活かして働く自分をイメージし、実現するためには何をなすべきかについて整理し、以下を学修目標とする。
1. 心理の仕事について具体的にイメージできるようになる。
2. 心理専門職について理解できるようになる。
3. 自分の仕事にどのように心理学を活かせるかについて、具体的なイメージを形成することができるようになる。

教科書・資料		テキストは使用せず，配布資料のみで授業を行う。その他に参考資料も配付する。		
設題	レポート　1	心理専門職として働く者に求められる知識と倫理について述べた上で、それらを将来、自身の仕事にどのように活かすことができるかについて述べよ。	清書	12月15日(火)
	(ポイント)	資料を参考にして、複数の心理専門職の仕事内容について調べ学修をした上で、それら心理専門職に共通して求められる知識と倫理をまとめること。倫理については、日本心理臨床学会の倫理基準を熟読することが望ましい。		
	科目終了試験	学修のポイント1 心理学に関連する諸資格について	科目終了試験12月22日(火)実施予定	
		学修のポイント2 医療領域で働く心理専門職について		
		学修のポイント4 教育領域で働く心理専門職について		
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	オリエンテーション・キャリアマネジメントとは
2	目標達成の心理学
3	モチベーションの心理学
4	習慣形成と時間管理
5	心理専門職とは ― 知識・倫理・資格　学修のポイント1 1200字レポート作成（10月13日(火)提出）
6	医療領域で働く心理専門職　学修のポイント2 1200字レポート作成（10月20日(火)提出）
7	教育領域で働く心理専門職　学修のポイント4 1200字レポート作成（10月27日(火)提出）
8	ストレスマネジメント
9	レジリエンスと働き続ける力
10	チームで働く心理学
11	問題解決と意思決定
12	キャリアをマネジメントする
13	これからのキャリアを考える　設題1 3200字レポートの清書作成（12月15日(火)提出）
14	授業まとめ・科目終了試験対策
15	科目終了試験
	期末テスト

成績評価	出　席　率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	１０点　授業態度を踏まえて評価を行う。
		１０点　レポートなどの提出状況を踏まえて評価を行う。
備　考		授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
		レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった場合、提出物点が減点となります。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。また，欠席するとその回は態度の評価ができませんので，授業態度点も減点となります。そのため，できるだけ欠席をしないよう体調管理等に気を付けてください。

知覚・認知心理学(3610)	武野　全恵	併修科目・必修
		2年
		OT水曜1限

授業のねらい

認知心理学のうち、注意、パターン認知、作動記憶、長期記憶、言語理解、思考などの領域に関して理解する。また、認知心理学における実験の計画・実施方法、データの分析法、モデルの構成法などについて学修し、人の感覚・知覚等の機序及びその障害、人の認知・思考等の機序及びその障害について理解する。

教科書・資料		テキストは使用せず，配布資料のみで授業を行う。その他に参考資料も配付する。		
設題	レポート　1	短期記憶、長期記憶、作動記憶という用語を用いて、人間の記憶の仕組みとその特徴について述べよ。	清書	11月4日(水)
	(ポイント)	まず、人間の持つさまざまな記憶の特徴と役割をまとめた上で、それぞれの記憶の間にどのような関係があるかをまとめること。さらに、人間にとって記憶が何故重要なのか、その意義が考察されているとなお良い。		
	レポート　2	知覚・認知心理学研究で得られた知見がどのように社会で利用/応用されているのかをリサーチしてください。	清書	12月9日(水)
	(ポイント)	①利用/応用されている基礎理論"自体"の説明を簡潔に述べてください。 ②"どこで・どのように"知覚・認知心理学が実際に利用/応用されているのでしょうか？ ③利用/応用されているだけではなく、実際に効果が認められているのでしょうか？ ④ある特定の環境(家庭・職場・施設など)で効果が認められているなら、別の環境でも効果が期待できますか？ それともその環境のみに効果があるのでしょうか？自身の考えを述べてください。		
	科目終了試験	学修のポイント2 知覚と注意について	科目終了試験12月16日(水)実施予定	
		学修のポイント5 概念と言語について		
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	認知心理学の成立と展開
2	感覚と知覚
3	知覚と注意
4	1200字レポート 学修のポイント2「知覚と注意について」 (10月7日(水)提出)
5	感覚記憶と短期記憶
6	作動記憶と長期記憶
7	3200字レポート 設題1「短期記憶，長期記憶，作動記憶という用語を用いて，人間の記憶の仕組みとその特徴について述べよ。」 (11月4日(水)提出)
8	概念と言語
9	1200字レポート　学修のポイント5「概念と言語について」 (11月11日(水)提出)
10	知識と表象
11	問題解決と推論
12	3200字レポート 設題2「知覚・認知心理学研究で得られた知見がどのように社会で利用/応用されているのかをリサーチしてください。」 (12月9日(水)提出)
13	日常場面における記憶
14	授業まとめ・科目修了試験対策
15	科目終了試験
	期末テスト

成績評価	出席率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	１０点　授業態度を踏まえて評価を行う。
		１０点　レポートなどの提出状況を踏まえて評価を行う。

備考

授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。

レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった場合、提出物点が減点となります。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。また，欠席するとその回は態度の評価ができませんので，授業態度点も減点となります。そのため，できるだけ欠席をしないよう体調管理等に気を付けてください。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	臨床薬学	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	水曜・2限
担当教員	戸苅彰史				
授業概要	薬物はどのようにしてその働きを発揮するのだろう。先ずは、私たちの生体が薬物に対して積極的に作用し、薬物を体内に吸収し、分布し、代謝し、排泄することにある。そして、薬物が私たちの体に備わっている生体調節機構に働きかけ、体内の反応を促進したり抑制したりすることにある。この薬物と生体とのやりとりが、薬物の効果や副作用と密接に関わっている。薬物を安全かつ効果的に使用するために必要な知識と考え方を身に付けるため、薬物の作用機序や体内動態を理解し、薬理作用、副作用、相互作用などの基本的な知識を整理し、リハビリを受ける多くの患者が服用している薬物について学ぶ。				
学習目標	薬の副作用(眠気、ふらつき、注意力低下、筋緊張の変化、運動機能への影響など)および高齢者における多剤併用(ポリファーマシー)の服用状況を確認し、安全にリハビリを行うために、以下の3点の習得を学習目標とする。①薬の効果を理解してリハビリに活かせる、②副作用を早期に発見して安全にリハビリを行える、③服薬の状況がリハビリの成果に影響している。				

回数		担当教員
1回目	薬物療法と医療における薬物(薬物療法、医薬品の名前・種類・剤形、医薬品の開発、新薬とジェネリック)	戸苅彰史
2回目	薬理学と薬理作用(薬の歴史、薬理作用の基本形式、薬理作用の分類、薬理作用と用量)	戸苅彰史
3回目	薬物の作用機序(薬物の標的、薬物の作用部位、受容体・チャネル・トランスポーター・酵素に働く薬物)	戸苅彰史
4回目	自律神経系に作用する薬物(自律神経系、自律神経作用薬の作用機序、自律神経作用薬のこぼれ話)	戸苅彰史
5回目	薬物動態学(薬物の適用経路、薬物の吸収・分布・代謝・排泄、薬物動態パラメーター)	戸苅彰史
6回目	薬効に影響を与える因子(生体自身および投与の仕方に起因する薬物感受性の差、薬物依存症の治療)	戸苅彰史
7回目	薬物の有害作用と相互作用(薬物による有害作用、薬物間相互作用、高齢者での薬物有害作用)	戸苅彰史
8回目	運動神経系に作用する薬物(パーキンソン病治療薬、中枢性・末梢性筋弛緩薬、ボツリヌス毒素、重症筋無力症治療薬、運動障害を起こす薬物)	戸苅彰史
9回目	痛覚・感覚神経系に作用する薬物(麻薬性鎮痛薬、神経障害性疼痛治療薬、局所麻酔薬(神経ブロック))	戸苅彰史
10回目	炎症系に作用する薬物(炎症について、ステロイド性・非ステロイド性抗炎症薬、解熱性鎮痛薬、痒みやアレルギーの抑制薬、関節リウマチ治療薬)	戸苅彰史
11回目	中枢神経系に作用する薬物(睡眠薬、抗精神病薬、抗不安薬、抗うつ薬、中枢神経刺激薬、抗てんかん薬、アルツハイマー病治療薬)	戸苅彰史
12回目	循環器・呼吸器・消化器系に作用する薬物(降圧薬、心不全・不整脈・狭心症治療薬、抗血栓症薬、気管支喘息治療薬、消化性潰瘍治療薬)	戸苅彰史
13回目	代謝系に作用する薬物(糖尿病治療薬、脂質異常症治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬、骨粗鬆症治療薬)	戸苅彰史
14回目	病原微生物およびがん細胞に作用する薬物(抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、消毒薬、抗悪性腫瘍薬)	戸苅彰史
15回目	総まとめ	戸苅彰史

教科書及び参考書	講義プリントを配布
成績評価	定期テスト100%

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

薬理学を中心として臨床薬学を学びますが、先ずは、薬理学の知識の基本を押さえて、重要ポイントを理解しましょう。授業では、みなさんが理解するのに役立つように講義テキストを用意しています。講義に先立ち予め配布しますので、予習・復習を必ず行ってください。専門用語が多く出てくる講義内容を理解するためには復習が不可欠です。成績は期末テストで判断します。なお、講義テキストの最後の章には授業内容に対応した練習問題を載せてありますので、活用してください。授業は、私と皆さんの共同作業です。学生心得に従って、積極的に学んでください。授業中、特別の許可なしに飲食、携帯・スマートホン等の操作は厳禁です。電源を切って授業を受けてください。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	神経内科学	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	水曜・4限
担当教員	武上泰光				
授業概要	・神経系を形づくる大脳、小脳、基底核、視床、視床下部、脊髄、といった重要な解剖用語を抑えておこう。 ・神経系の機能(運動、感覚、小脳系、錐体外路系、自律神経系、等)について理解しよう。 ・神経系の機能に障害があるとどんな症状が起きるかを理解しよう。 ・どんな障害が起き、リハビリテーションがどのようにかかわっているかについて考えてみよう。 ・整形外科とともに神経内科的知識はリハビリを行なっていくのに重要であると思います。リハビリの歴史についても考えてみよう。				
学習目標	・基本的事項(解剖、機能等について)を理解し説明できる。 ・リハビリをめぐる歴史的な流れ(特にWHOのICIDH、ICF)を理解し説明できる。 ・神経内科疾患のリハビリを行なうにあたって、患者さんの障害を理解できるようにする。				

回数		担当教員
1回目	神経系の解剖と機能:神経系の構成、構造、機能など。	武上 泰光
2回目	神経学的診断と評価:検査法、先天疾患。	武上 泰光
3回目	神経症候学①:意識障害、頭痛、めまい、など。	武上 泰光
4回目	神経症候学②:運動麻痺、錐体路徴候、錐体外路徴候など。	武上 泰光
5回目	神経症候学③:運動失調。	武上 泰光
6回目	神経症候学④:感覚障害、高次脳機能障害 ;練習問題1	武上 泰光
7回目	神経症候学⑤:構音、嚥下障害 ;中間テスト1	武上 泰光
8回目	神経症候学⑥:脳神経外科領域の疾患。	武上 泰光
9回目	脳血管障害:脳梗塞、脳出血など。	武上 泰光
10回目	認知症:認知症、アルツハイマー病など。	武上 泰光
11回目	脳腫瘍、外傷性脳損傷:脳腫瘍、外傷性脳損傷の特徴。	武上 泰光
12回目	変性疾患①:脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患。	武上 泰光
13回目	変性疾患②、筋疾患:パーキンソン病など。 ;練習問題2	武上 泰光
14回目	末梢神経障害、てんかん:末梢神経障害の分類、てんかん。 ;中間テスト2	武上 泰光
15回目	小児神経疾患など:脳性麻痺、二分脊椎。	武上 泰光

教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学　神経内科学/医学書院
成績評価	中間テスト2回(20x2=40点)、期末試験60点、計100点。メッセージ欄参照。

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

・練習問題の演習とそれをもとにした中間テストを6、7回目(10/14と10/21)と13、14回目(12/2と12/9)に行ないます。それまでの講義の内容と練習問題を行なう中で説明する内容が中間テストの範囲です。練習問題と中間テストで基本事項を覚えてしまおう。
・高齢化が進み、認知症の方が増加し、障害像が変化し、その中で医療、福祉の重要性が増してきました。
・日本では、欧米に追随して、福祉の制度を発展させてきました。一方で、日本的な福祉を追求する傾向もあると思います。
・そうした流れの中で、基本的な医学的知識は医療、福祉に関わるにあたっては重要であると思います。

障害者・障害児心理学(3620)	原田　亘	併修科目・必修 OT2年 木曜2限

授業のねらい	障害児・者の心理を学ぶことは、障害の種類について理解した上で、それぞれの障害を持つことによる行動パターンや心理特性に関して、心理学的視点から考察を行うことである。それぞれの障害の原因や症状に関する科学的な基礎理解と共に、人間学的視点から、障害児・者やその家族と共にいかに生きるのか、そして専門家としてどのように支えるのかについて考察を進めたい。
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。

設題	レポート 1	自閉スペクトラム症、学習障害、注意欠陥多動症を中心に発達障害の心理的特性と援助について述べよ。	清書	10月22日(木)
	(ポイント)	教科書の第6、第7、第8章を中心に、それぞれの障害とは何か、その心理特性及びそれぞれの心理学が役立つ仕事について考察すること。		
	レポート 2			
	(ポイント)			
	科目終了試験	学修のポイント・知的障害児・者の心理・行動特徴について 学修のポイント・自閉スペクトラム症の援助について 学修のポイント・障害児の親の心理について	科目終了試験12月17日(木) 実施予定	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	オリエンテーション・障害について考えてみよう
2	障害者・障害児心理学について
3	学修のポイント4：自閉スペクトラム症の援助について
4	学修のポイント4：自閉スペクトラム症の援助について　レポート作成
5	注意欠如・多動症と学習障害の援助について
6	発達障害児に関する援助の実際（ペアレントトレーニング演習）
7	清書レポート作成
8	学修のポイント3：知的障害児・者の心理・行動特徴について
9	学修のポイント3：知的障害児・者の心理・行動特徴について　レポート作成
10	学修のポイント2：障害児・者の親の心理について
11	学修のポイント2：障害児・者の親の心理について　レポート作成
12	障害者の自立とその心理について（ＤＶＤ「こんな夜更けにバナナかよ」）
13	第12回の続きと事例検討
14	科目終了試験及び期末試験対策
15	科目終了試験
	期末試験

成績評価	出　席　率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	２０点　提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	老年学	授業形態	(講義) 演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	木曜・3限
担当教員	石田　敦子				
授業概要	作業療法士が活躍する場において、高齢者が対象となる場合が非常に多いです。超高齢社会を迎えた日本において、今後も高齢者に対する支援の需要は高まっていきます。この授業では高齢者の特徴や関連制度、高齢者に特有の疾患を学びます。紹介する疾患の検査や治療については医学ベースで紹介しますが、作業療法分野においても重要なものばかりです。確実に理解し、手技が行えるようになってください。チーム医療で活躍できるようになる作業療法士を目指していきましょう。				
学習目標	・加齢による生理学的な変化が説明できる ・高齢者が利用できる社会制度を説明することができる ・フレイル・サルコペニアの診断に使用される検査を実施できる ・MCI・認知症の診断に使用される検査を実施できる ・検査結果を説明し、予防的なアドバイスを行うことができる				

回数		担当教員
1回目	オリエンテーション、老年学総論① p. 2-29	石田　敦子
2回目	老年学総論②　p. 30-62	石田　敦子
3回目	フレイル・サルコペニア①　p. 64-78	石田　敦子
4回目	フレイル・サルコペニア②　p. 64-78	石田　敦子
5回目	MCI・認知症①　p. 80-93	石田　敦子
6回目	MCI・認知症②　p. 80-93	石田　敦子
7回目	**実技試験**　疾患の検査手技、治療法アドバイス	石田　敦子
8回目	**実技試験**　疾患の検査手技、治療法アドバイス	石田　敦子

教科書及び参考書	リハビリテーション基礎講座　老年学／医歯薬出版
成績評価	期末テスト70%、実技試験30%　欠席1回で3点、遅刻1回で1点減点します。

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

1～2回目の授業では高齢者を取り巻く制度や加齢による生理学的な変化について学習します。この部分は、1年生の基礎医学の知識や前期の地域リハビリテーション学の知識の復習になるとともに、3年生で学習する老年期作業療法の予習にもなります。繰り返し学習し、知識を身につけましょう。
3～6回目の授業では高齢者に多い代表疾患を勉強していきます。診察の際に医師が診断材料とする検査を実技を通して学んでいきます。作業療法が老年医学と密接につながっていることがわかると思います。
7～8回目は実技試験を実施します。調整が可能であれば実際に高齢者の方に検査を実施し、結果の説明やアドバイスを行っていただく予定です。実技試験は、検査手技の正確さ、結果の読み取り、結果の説明、結果から考えられるアドバイス、実施後のフィードバックや感想の提出をもって採点します。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	作業療法評価法Ⅲ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	木曜・4限
担当教員	杉野潤也				
授業概要	作業療法では対象者の状況について正しく検査測定を実施し、それらの状態が本人がやりたい・出来なくて困っている作業にどのように影響を与えているのかを把握します。この授業では主に身体機能面の検査測定方法について実技を交えて練習していきます。				
学習目標	・各検査測定(意識・形態計測・感覚・筋緊張・反射・バランス機能・協調性・脳神経・上肢機能)を実施する事ができる ・測定結果について、専門用語を用いるとともに分かりやすい言葉で伝えることができる ・代表的な疾患について、評価立案、検査測定ができる				

回数		担当教員
1回目	評価・検査1	杉野潤也
2回目	評価・検査2	杉野潤也
3回目	評価・検査3	杉野潤也
4回目	評価・検査4	杉野潤也
5回目	評価・検査5　　確認テスト1	杉野潤也
6回目	評価・検査6	杉野潤也
7回目	評価・検査7	杉野潤也
8回目	評価・検査8	杉野潤也
9回目	評価・検査9	杉野潤也
10回目	評価・検査10	杉野潤也
11回目	評価・検査11	杉野潤也
12回目	評価・検査12	杉野潤也
13回目	振り返り学習1　　※確認テスト2	杉野潤也
14回目	振り返り学習2	杉野潤也
15回目	振り返り学習3	杉野潤也

教科書及び参考書	作業療法法評価学　第4版　/医学書院
成績評価	確認テスト(50%)　期末試験(50%)　欠席-3点、遅刻-1点。授業態度

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

臨床実習の評価で必要になる知識です。復習・テスト勉強ををを行うことで、必要な知識の定着ならびに単位の取得が出来ると考えられます。正しく評価ができるように復習を進め、単元テストや期末試験対策につなげていきましょう。適宜実技練習を行いますので、動きやすい服装で参加してください。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	ヘルスプロモーション	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	金曜・3限
担当教員	磯村 毅				
授業概要	ヘルスプロモーションは作業療法の新しい分野である。それは疾病予防や介護予防、健康増進を含めた包括的な作業療法として位置づけられる。 この講義では職業人としての理解のみならず自分自身の健康増進に役立つという視点も大切にしていきたい。若い時期の生活習慣がその後の人生、ひいては職業人としての貢献に直接関わってくると考えるからである。				
学習目標	援助職として患者さんのヘルスプロモーション上の課題を把握しその対策を施行できる。 個人としても自分自身のヘルスプロモーション上の課題を把握しその対策を実行できる。 実際に様々な生活習慣に取組んで自分自身の変化を評価しヘルスプロモーションの意味を実感できる。				

回数		担当教員
1回目	ヘルスプロモーション総論	磯村毅
2回目	フレイルの理解とその関連事項	磯村毅
3回目	高齢者の評価	磯村毅
4回目	高齢者の身体機能評価1	磯村毅
5回目	高齢者の身体機能評価2	磯村毅
6回目	高齢者の認知・精神心理・QOLの評価	磯村毅
7回目	ヘルスプロモーションの実践1	磯村毅
8回目	ヘルスプロモーションの実践2	磯村毅
9回目	ヘルスプロモーションの実践3	磯村毅
10回目	ヘルスプロモーションの実践4	磯村毅
11回目	行動科学とヘルスプロモーション	磯村毅
12回目	ヘルスプロモーションのための栄養知識と口腔衛生	磯村毅
13回目	要介護高齢者のヘルスプロモーション	磯村毅
14回目	ヘルスプロモーションの関連法規	磯村毅
15回目	ヘルスプロモーション研究の進め方	磯村毅

教科書及び参考書	特に教科書は指定しない。講師が資料を作成する。
成績評価	テスト50%　レポート50%

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

予習復習をしっかりすること。いろんなことに興味を持ち、積極的に学ぶこと。
特にこの科目は健康増進という皆さん自身にとっても非常に有益な内容を扱っている。
私個人を振返っても、若い時代の1日1日は、本当に貴重であった。良い意味でも悪い意味でも、本当にそうである。
諸君は、幸い、目指す目標が明確で社会貢献の方法も分かり易い分野を学ぶ学生である。
脳は25歳まで、成長を続けるという。諸君らはもはや一人前、これ以上成長の余地は乏しいと感じているかもしれないが(私もそうであった)、今から思うと、その後の伸びしろはまだまだ大きなものがあった。特に、コミュニケーション能力や、人格的な部分はこれからである。そう考えて、課題図書なども選んでみた。
大いに、泣いて笑って、青春を謳歌していただきたい。それらすべてが、職業人としての諸君らの血となり肉となるであろうから。
応援している。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	小児科学	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	金曜・4限
担当教員	磯村　毅				
授業概要	理学療法士・作業療法士としてチーム医療を担う基礎となる小児科学について学ぶ。 小児の発達から主要臓器および分野を網羅的に学ぶ。 小児期は人間の土台を形成する時期であり、その後の人生を文字通り左右する大切な期間であり深く正確な理解が大切である。				
学習目標	チーム医療の一員として役割を担える基礎学力の獲得 医療機関では多職種が情報交換しながら仕事をすすめるが、その共通言語として、病名をはじめとする多数の専門用語が用いられる。こうした基礎知識なしにはチームの一員として適切に機能することは困難であるばかりか、様々な行き違いが起こり医療事故にもつながりかねない。 しかし、子どもを対象とする場合に、小児科で扱う基本的な事項を身につければ、それだけでもチームから信頼されるきっかけとなろう。				

回数		担当教員
1回目	小児科総論　(p1-99)	磯村毅
2回目	新生児・先天異常・消化器疾患　(p102-215)	磯村毅
3回目	腫瘍・循環器・代謝・内分泌疾患　(p216-355)	磯村毅
4回目	腎・泌尿器・生殖器・免疫・アレルギー・膠原病　(p356-453)	磯村毅
5回目	血液・造血器・感染症　(p454-554)	磯村毅
6回目	呼吸器・神経・精神・骨・関節疾患　(p555-681)	磯村毅
7回目	まとめ	磯村毅

教科書及び参考書	「病気が見える vol15　小児科」/MEDIC MEDIA
成績評価	テスト60%、レポート40%

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

予習復習をしっかりすること。いろんなことに興味を持ち、積極的に学ぶこと。
私個人を振返っても、若い時代の1日1日は、本当に貴重であった。良い意味でも悪い意味でも、本当にそうである。
諸君は、幸い、目指す目標が明確で社会貢献の方法も分かり易い分野を学ぶ学生である。
脳は25歳まで、成長を続けるという。諸君らはもはや一人前、これ以上成長の余地は乏しいと感じているかもしれないが(私もそうであった)、今から思うと、その後の伸びしろはまだまだ大きなものがあった。特に、コミュニケーション能力や、人格的な部分はこれからである。そう考えて、課題図書なども選んでみた。
大いに、泣いて笑って、青春を謳歌していただきたい。それらすべてが、職業人としての諸君らの血となり肉となるであろうから。応援している。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	見学実習事前・事後指導Ⅱ	授業形態	講義・演習 (実習)	学科・年次	OT・2年
				曜日・時限	月～金曜・1～4限
担当教員	OT専任教員				
授業概要	見学実習では、実習生としての身だしなみと謙虚な姿勢で実習を行なえること、実習施設の規則を守ることと環境整備に努めることができること、社会人として時間厳守と報告・連絡・相談を適時行えること、提出物等の遅れがないこと、文献などを活用して知識の向上に努められること、対象者の障害を理解してコミュニケーションが取れること、作業療法士の役割が理解できることが求められます。有意義な実習となるよう事前準備及び、終了後実習報告会にて振り返りを行います。				
学習目標	・見学実習において必要となる、基本的な介助方法や患者様との接し方などの実技能力を身につける ・2年次に学んだ評価を行う事が出来る ・作業療法士として相応しい対応を、対象者及び実習指導者に対して行う為の準備ができる ・学んだ事についてデイリーノートなどを用いて表出し、スーパーバイザーに提出する模擬練習ができる。				

回数		担当教員
1回目	学生紹介表の作成・社会的交流技能の説明	OT教員
2回目	実習想定場面での面接・観察と病態予測について	OT教員
3回目	療法士面接・バイタル測定　①P120～128　P140～171	OT教員
4回目	関節可動域測定　①P172～193	OT教員
5回目	筋力測定　①P194～226	OT教員
6回目	形態計測　①P227～241	OT教員
7回目	感覚検査　反射検査　立位バランスの評価　①P275～301　P370	OT教員
8回目	脳卒中の麻痺側運動機能の評価　運動失調検査　①P312～330　P356～369	OT教員
9回目	移乗介助　①P93～117	OT教員
10回目	実技練習	OT教員
11回目	実技練習	OT教員
12回目	実技練習	OT教員
13回目	OSCE(実技テスト)1	OT教員
14回目	OSCE(実技テスト)2	OT教員
15回目	電話連絡の方法、文献の調べ方について　②P98～103	OT教員
16回目	作業観察の視点と、デイリーノートの記載方法(ADL・リハビリ・レク場面)　②P64～97	OT教員
17回目	身体障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)	OT教員
18回目	老年期障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)	OT教員
19回目	精神障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)	OT教員
20回目	お礼状の作成　②P106～107	OT教員
21回目	実習報告会1	OT教員
22回目	実習報告会2	OT教員
23回目	実習報告会3	OT教員

教科書及び参考書	①PT・OTのための臨床技能とOSCE　コミュニケーションと介助・検査測定編　第2版　金原出版株式会社 ②これで解決PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド　株式会社金芳堂
成績評価	OSCE(50%)　社会的交流技能(30%)　実習報告会(20%)　欠席は3点、遅刻は1点減点 学生心得第5章、第21条第1・2項のルール等を違反している場合には減点とする場合がある OSCEでは、対象者を観て挨拶やコミュニケーション、面接、バイタル測定を実施し、どのような病態か、何を困っているのか、それらを明らかにするにはどのような評価を選択すればよいか検討し実施できるかをテストします。OSCEが不合格の場合は再試験をおこないます。 社会的交流技能では実習にいくための基本的な態度が備わっているかを教員が評価します。

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

授業内にて臨床実習で役立つプリントを配布します。ファイルを準備し、実習中に使用できるよう適宜ファイリングしてください。
授業内だけでなく、授業外の学習も重要となります。実技に関しては授業前後に実技室を使用し友達同士はもちろん、教員にアポイントメントを取り、積極的に練習してください。また、自身の分野に関する事前学習課題を各自に提示します。
臨床実習は1年間の学びを実際の対象者を通して再度学びなおしたり、授業で別々に学んだ知識を対象者を通して統合していく、非常に深い学びの時間となります。その時間を有意義なものとするために、しっかりと準備して前提知識を蓄える事が大切です。前提知識を十分に蓄えることで、バイザーから質問をされた場合にも返答することができるようになり、それらの知識を応用するおもしろさに気づけます。しっかりと準備をして臨みましょう。